

2011年12月期 決算説明資料



サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ : 3744)

2012年1月31日

2011年12月期 決算概要

中期事業戦略と2012年12月期業績予想

2011年12月期 決算概要

売上高 5,110百万円 (前年同期比 2.5%増)

ほぼ予想通り

- 「[LifeKeeper](#)」*は、大規模案件の減少等により減収だが、第3四半期以降、徐々に増収基調に回帰
- 「[Red Hat Enterprise Linux](#)」*は、新規受注金額は堅調に推移したが、旧製品が減収
- 「[SIOS Integration for Google Apps](#)」*、[MFP関連ソリューション](#)*等は順調に収益貢献

営業利益 △155百万円 (前年同期は △283百万円)

EBITDA 151百万円 (前年同期比 188.9%増)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

予想を上回る

- 受託開発における不採算案件が、第2四半期までのコスト増加要因となるが、徹底したコスト削減を継続し、営業損失幅縮小に寄与
- 投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しその回復が認められたものについて、減損処理による投資有価証券評価損46百万円を特別損失として計上

※ 「*」を付した用語につきましては、P23に解説を記載しております。

2011年12月期 業績(連結)

	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減率	業績予想 (11.1.31 公表)	(百万円) 差異
売上高	4,987	5,110	+2.5%	5,100	+0.2%
オープンシステム基盤事業	4,039	3,845	△ 4.8%	-	-
Webアプリケーション事業	949	1,266	+33.3%	-	-
セグメント間調整	△ 2	△ 1	-	-	-
売上原価	2,860	3,121	+9.1%	-	-
売上総利益	2,127	1,989	△ 6.5%	-	-
販管費	2,410	2,144	△ 11.0%	-	-
(内 のれん償却額)	252	232	△ 7.7%	-	-
営業利益	△ 283	△ 155	-	△ 250	-
経常利益	△ 286	△ 161	-	△ 250	-
当期純利益	△ 312	△ 247	-	△ 270	-
EBITDA	52	151	+188.9%	-	-
(連結社員数)	(211名)	(216名)	(+ 5名)		

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

※特別損失計上による影響額

投資有価証券評価損

46百万円

2011年12月 業績(個別)

	(百万円)			(百万円)			(千ドル)		
	サイオス単体			米SIOS Corp単体(¥ベース)			米SIOS Corp単体(\$ベース)		
	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減
売上高	4,649	4,541	△2.3%	722	643	△10.9%	8,230	8,070	△1.9%
(システム基盤)	3,748	3,553	△5.2%	722	643	△10.9%	8,230	8,070	△1.9%
(Webアプリ)	900	987	+9.7%	-	-	-	-	-	-
売上原価	3,176	3,178	+0.0%	151	148	△2.4%	△ 444	△ 797	
売上総利益	1,472	1,362	△7.5%	570	495	△13.1%	6,499	6,211	△4.4%
販管費	1,415	1,303	△7.9%	937	681	△27.3%	10,683	8,546	△20.0%
(内 のれん償却)	-	-	-	247	228	△7.8%	2,819	2,859	+1.4%
営業利益	56	59	+3.8%	△ 367	△ 186	-	△4,184	△2,334	-
経常利益	55	61	+10.1%	△ 364	△ 185	-			
当期純利益	22	△ 1,090	-	△ 342	△ 186	-			
			換算レート: 1\$ =	87.78円	79.78円				
(社員数)	(153名)	(147名)	(△ 6名)	(38名)	(36名)	(△ 2名)			

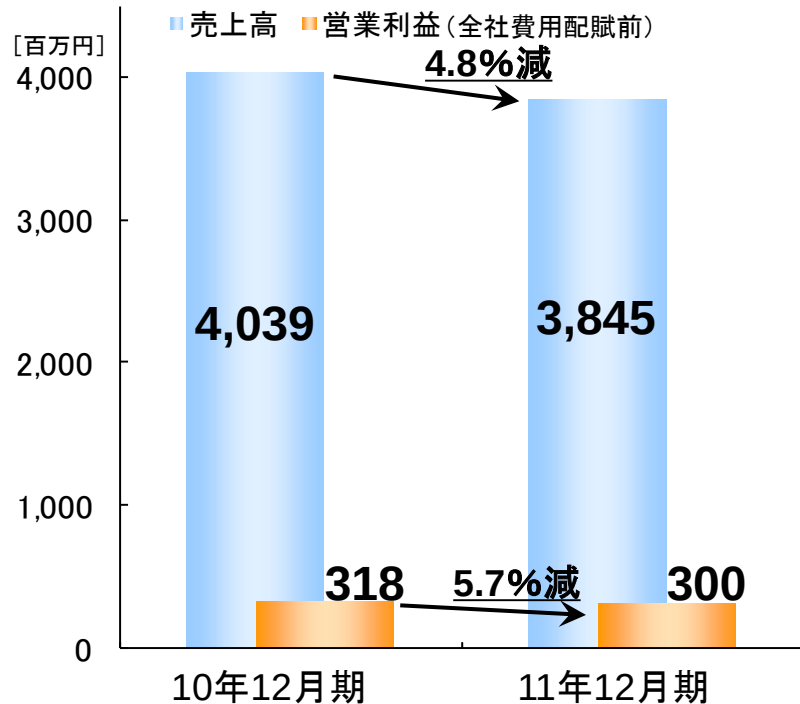
※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

※特別損失計上による影響額

投資有価証券評価損	46百万円
関係会社株式評価損	1,029百万円
関係会社投資損失引当金繰入額	39百万円
計	1,116百万円

オープンシステム基盤事業について

売上高	3,845百万円	(前年同期比	4.8%減)
営業利益 (全社費用配賦前)	300百万円	(前年同期比	5.7%減)
営業利益 (全社費用配賦後)	12百万円	(前年同期は △29百万円)	



売上高

[国内]

- ・「LifeKeeper」は、大規模案件の減少等により減収だが、第3四半期以降、徐々に増収基調に回帰
- ・「Red Hat Enterprise Linux」は、新規受注金額は堅調に推移したが、旧製品・サービスが減収

[海外]

- ・米州、欧州で苦戦したものの、その他地域(アジア・オセアニア)では徐々に伸長

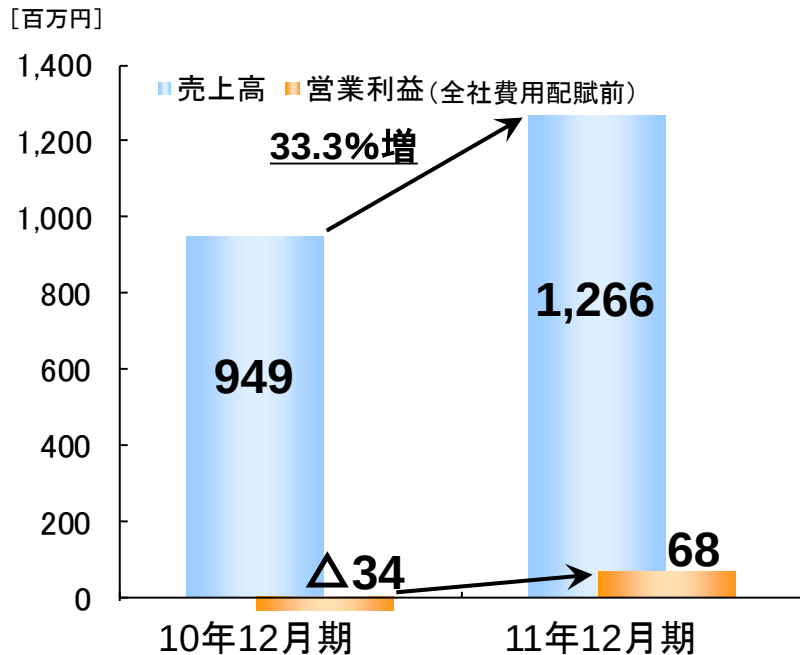
営業利益(全社費用配賦前)

- ・上記の要因により、利益が減少

※オープンシステム基盤事業における前年同期の全社費用(一般管理部門にかかる費用)は348百万円、当期は288百万円

Webアプリケーション事業について

売上高	1,266百万円	(前年同期比	33.3%増)
営業利益 (全社費用配賦前)	68百万円	(前年同期は	△34百万円)
営業利益 (全社費用配賦後)	△167百万円	(前年同期は	△253百万円)



売上高

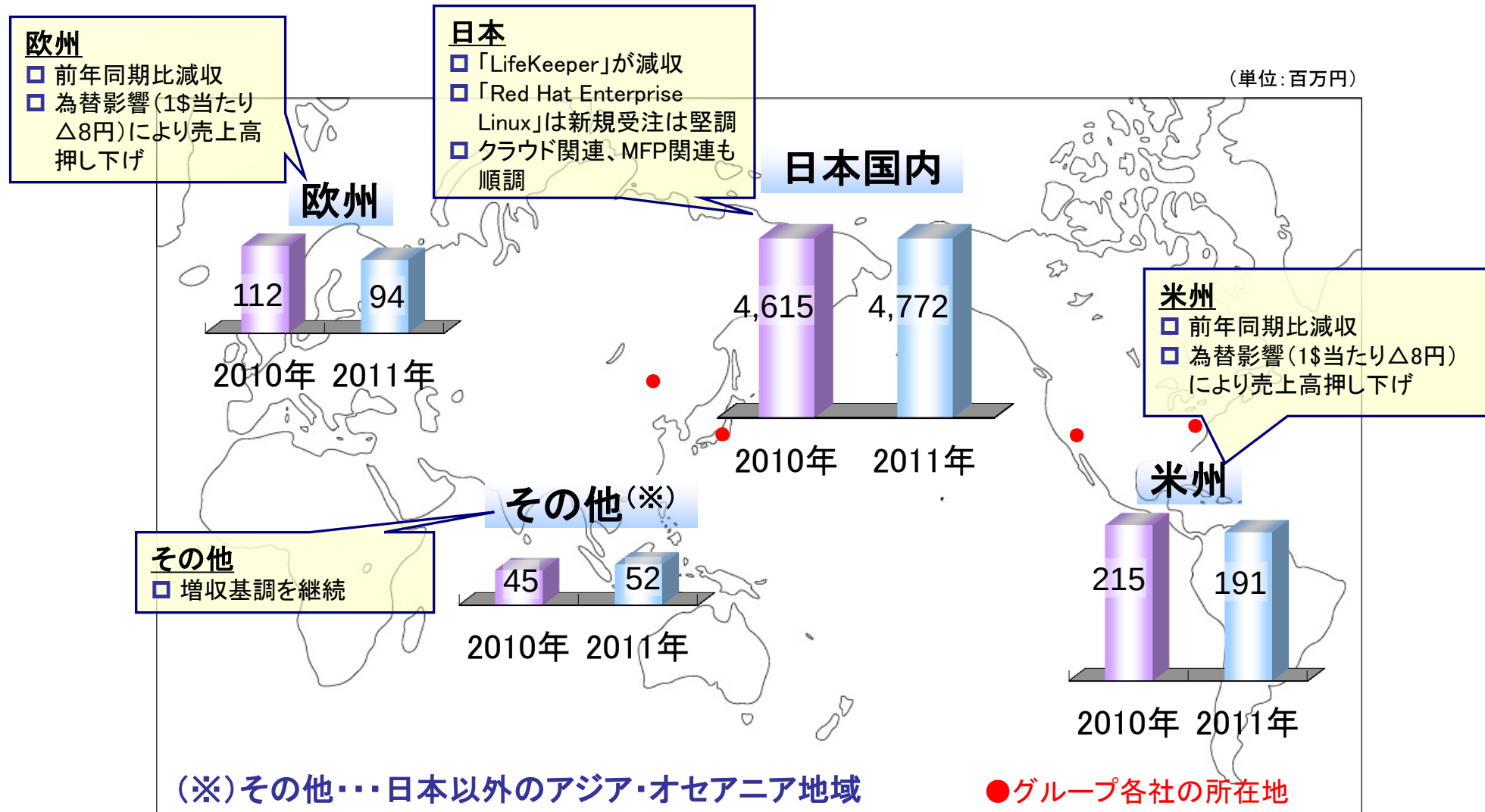
- ・「SIOS Integration for Google Apps」を始めとするクラウドコンピューティング*関連の製品・サービスは増収
- ・ Google Apps導入は70万ユーザーを突破 (2011年12月末時点・・・大学／民間含む)
- ・ MFP関連ソリューションも順調

営業利益 (全社費用配賦前)

- ・ 受託開発における不採算案件に伴うコスト増加が利益を押し下げるが、セグメント全体では黒字化

※Webアプリケーション事業における全社費用 (一般管理部門にかかる費用) は、前年同期が218百万円、当期が236百万円

地域別売上高の状況



2011年12月期 貸借対照表

(単位: 百万円)

	連結			
	10年12月期 期末実績	11年12月期 期末実績	増減	
流動資産合計	2,437	2,321	△ 116	前渡金△126 など
固定資産合計	795	454	△ 340	のれん△202、投資有価証券△46など
(のれん)	362	121	△ 241	
資産合計	3,232	2,775	△ 457	
流動負債合計	1,418	1,219	△ 199	前受金△84、買掛金△44など
(1年内返済長期借入金)	125	2	△ 122	
固定負債合計	96	109	+12	
(長期借入金)	0	7	+7	
負債合計	1,515	1,328	△ 186	
純資産合計	1,717	1,447	△ 270	利益剰余金の減少△270 など
負債純資産合計	3,232	2,775	△ 457	

2011年12月期 キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッシュ・フロー
現金及び現金同等物に係る換算差額
現金及び現金同等物の増減額
現金及び現金同等物の期首残高
現金及び現金同等物の期末残高

連結		
10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減
48	239	+191
△ 60	△ 22	+38
△ 275	△ 142	+133
△ 60	△ 19	+41
△ 349	55	-
1,474	1,125	-
1,125	1,180	-

税引前当期純損失 △206
減価償却 +59
のれん償却 + 232
前渡金の減少 + 126
仕入債務増加 +44
未払金の減少 △17
前受金の減少 △74 など

固定資産取得 △25 など

借入金返済 △125 など

2011年「クラウド」方針の振り返り

クラウド

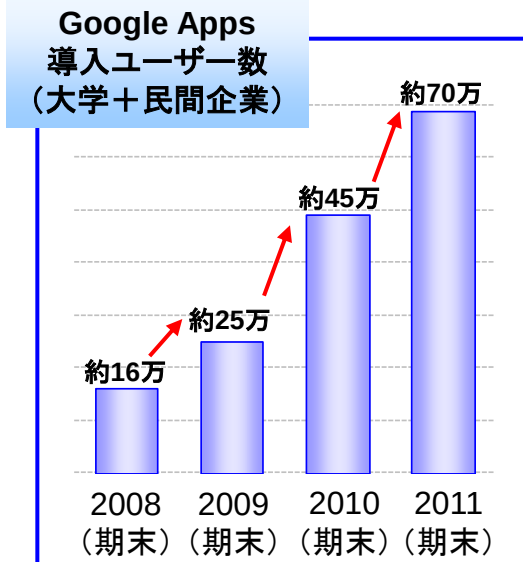
- 「SIOS Integration for Google Apps」の提供拡大と周辺分野でのサービス展開
- クラウド型のインテグレーションに転換

⇒ Google Apps導入は70万ユーザーを突破

⇒ Google Appsの機能拡張サービス

「Gluegent™」シリーズの提供を開始

- ✓ セキュリティソリューション「Gluegent Gate」や、グループスケジューラー、共有アドレス帳等をリリース



OSS

- 「LifeKeeper」の更なる拡販
- OSSワンストップソリューション*の展開を継続

⇒ 他社との協業や導入事例が着実に増加

- ✓ 日本IBMとの協業で、災害時に自社のITシステムからクラウド上のバックアップ・システムに切り替えるサービスを提供開始
- ✓ 「DataKeeper* for Windows」と、日本クエスト・ソフトウェアのデータ保護ソリューション「NetVault Backup」との組み合わせにより、企業の災害復旧対策として、企業のデータを遠隔地にバックアップするソリューションを提供開始
- ✓ 「LifeKeeper」と、ミラクル・リナックスの「MIRACLE System Savior」の組み合わせにより、障害時のサービス継続の確率を高め、システム復旧時の作業が削減できるソリューションを提供開始

2011年12月期 決算概要

中期事業戦略と2012年12月期業績予想

中期目標数値について

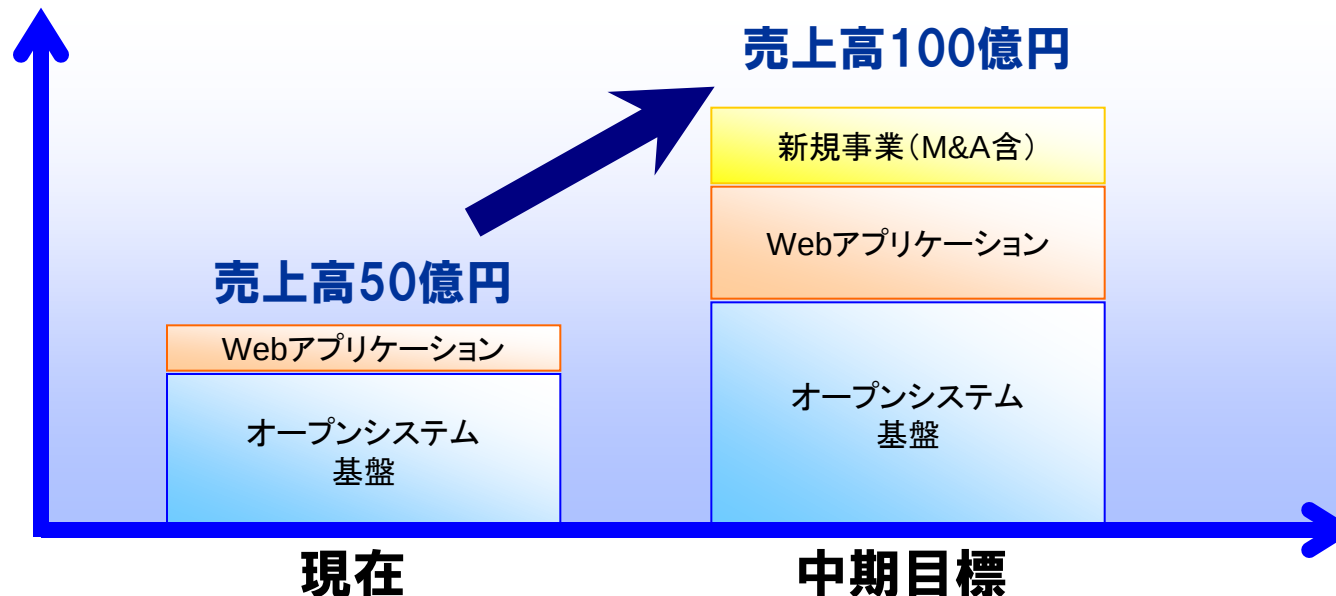
中期目標数値は据え置き（2009年2月2日公表ベース）

当社グループは、中期的に

売上高100億円、EBITDA15億円を目指します。

（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

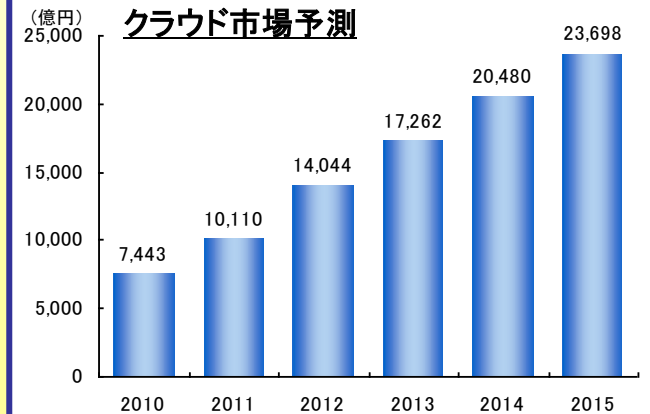
なお、実現目標時期については、世界経済状況や当社を取り巻く事業環境、中期事業戦略の進捗状況に応じて公表します。



「クラウド」と「OSS」への注力

長期的展望

- 企業のIT戦略において、クラウドコンピューティングやソーシャル・メディアの活用が必要不可欠となり、それらと親和性の高いOSS*の活用も進む
- ライセンス提供型、労働集約型ビジネスからサービス提供型ビジネスへの移行が進む



出典: 2010年情報通信白書(総務省)



クラウドとOSSの分野を中心とした事業構造転換を継続

- 「LifeKeeper」や「Red Hat Enterprise Linux」に続くビジネスとして、クラウド関連やMFP関連のビジネスが伸長中
- グループ各社の強みを一層強化し、クラウドやソーシャルの領域における新たなビジネス創出への取り組みも加速

米国子会社にて新サービスとして推進してきた「CloudStation(仮称)」については、早期の収益貢献の見通しが立たないため、関連する業務を停止。当該サービスに投入してきた経営資源は、既存事業のほか、新たなビジネス創出や、グループ各社での連携の推進に配分

セグメント毎の取り組みテーマ①

オープンシステム基盤事業

➤「LifeKeeper」の拡販

- 製品機能の強化、販売パートナーとの関係強化
- 新たな商機獲得に向け、協業や市場開拓を推進

➤「Red Hat Enterprise Linux」を始めとするOSS関連のビジネスにおける競争優位性の確立

- 営業・技術・マーケティングの機能強化により、顧客満足度の向上を図る

セグメント毎の取り組みテーマ②

Webアプリケーション事業

➤クラウド関連の製品・サービスの提供拡大

- Google Appsの機能拡張サービス「**Gluegent™**」シリーズの展開による収益力強化

➤MFP関連ソリューションの提供拡大

- 継続的な機能強化と、販売活動の強化

➤スマートフォンやSNS*を始めとする新たな展開

- 2011年6月に連結子会社化した**株式会社SIIS**を中心に推進

2012年12月期 通期業績予想

売上伸長、営業損益黒字化

	(百万円)			
	11年12月期 実績	12年12月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	5,110	5,300	+189	+3.7%
オープンシステム基盤事業	3,845	3,890	+45	+1.2%
Webアプリケーション事業	1,266	1,410	+144	+11.4%
セグメント間調整	△ 1	0	+1	-
売上原価	3,121	3,060	△ 61	△ 2.0%
売上総利益	1,989	2,240	+251	+12.6%
販管費	2,144	2,220	+75	+3.5%
(内 のれん償却額)	232	120	△ 113	△ 48.4%
営業利益	△ 155	20	+175	-
経常利益	△ 161	20	+182	-
当期純利益	△ 247	△ 20	+228	-
EBITDA	151	200	+49	+32.3%

オープンシステム基盤事業

- 「LifeKeeper」の拡販
- 「Red Hat Enterprise Linux」は提供内容変更による影響が残るが、現行の製品は堅調に推移

Webアプリケーション事業

- クラウド関連、MFP関連の製品・サービスの提供拡大
- 受託開発、子会社等による押し上げ

売上原価・販売費及び一般管理費

- のれん償却額は、ほぼ半減
- 営業・技術・マーケティングの強化に係るコストの増加を見込んでいるが、コスト管理の徹底により、合計では微増

ご参考

- ◇サイオステクノロジーについて
- ◇当社グループの事業領域
- ◇TOPIC
- ◇用語集

Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、Linuxに代表される**オープンソースソフトウェア(OSS)**の開発と利用を軸に、**OS(基本ソフトウェア)**から**Webアプリケーションソフトウェア**にかかわる事業を推進し、情報システムのコスト削減に関する取り組みを推進しています。また、市場が拡充しつつある**クラウドコンピューティング**分野でも、**OSS**の利活用を通じて、最先端のシステムを提供しています。

これからも**革新的なソフトウェア技術**を追求し、**世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」と**なって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。



(2011年12月31日現在)

本社: 東京都港区虎ノ門4-1-28

設立: 1997年5月23日

連結子会社:

SIOS Technology Corp.(米)、赛欧思(北京)科技(中)、グルージェント(日)、SIIS(日)

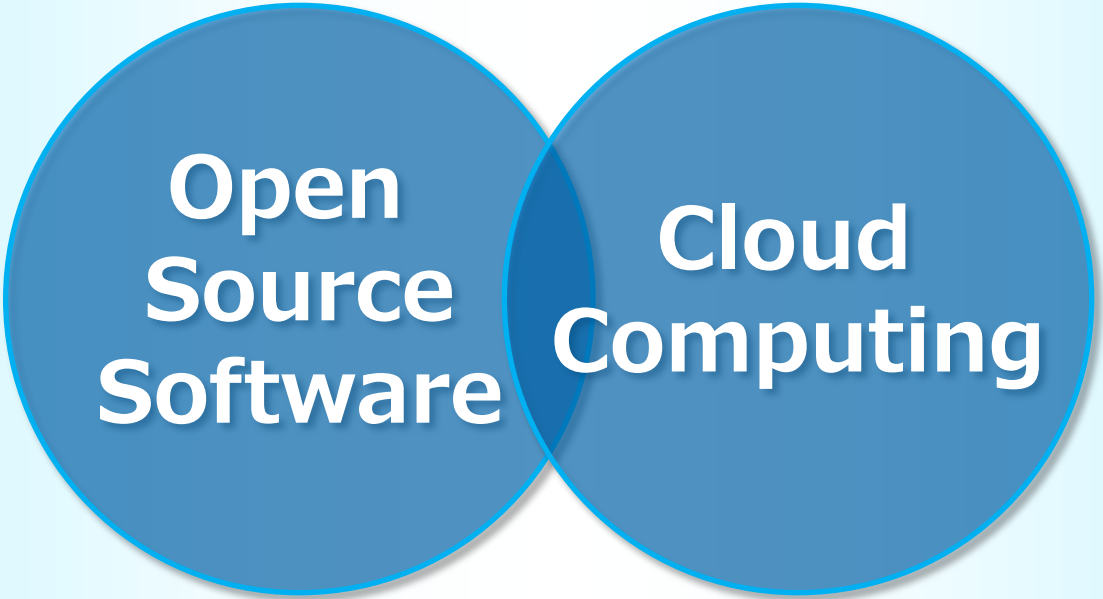
資本金: 1,481百万円

社員数※: 連結216名、単体147名

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

サイオスの価値

オープンソース技術 と クラウド活用 による
最適システムの実現



Open
Source
Software

Cloud
Computing

1. 自由度の高いシステム開発と運用
2. サービスインまでのスピード向上
3. 次世代アーキテクチャーへの対応

当社グループの事業領域

オープンシステム基盤事業

事業継続ソリューション

「LifeKeeper」
「DataKeeper」

オープンソースソリューション

「Red Hat Enterprise Linux」
「JBoss Enterprise Middleware*」
「Postgres Plus*」

オープンソースソフトウェア(OSS)関連サービス

OSSワンストップソリューション*

Webアプリケーション事業

クラウドソリューション

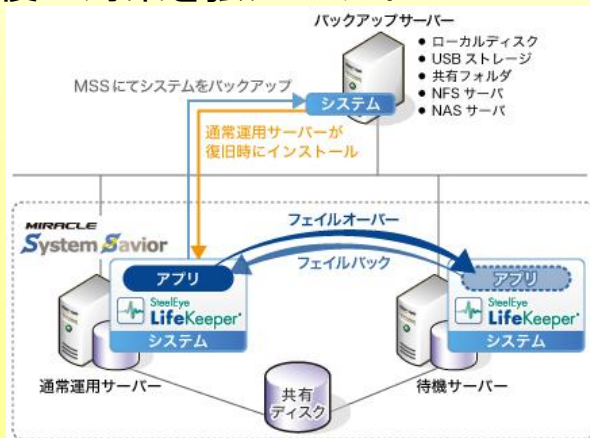
「SIOS Integration for Google Apps」
「サイオス受託開発サービス
for Google App Engine*」

SIOS Applications

MFP関連ソリューション

➤ 2011年10月、ミラクル・リナックスとシステムバックアップソリューションで協業

- ✓ サイオスの「LifeKeeper」で構成されたシステムを、同社のシステムバックアップソフトウェア「MIRACLE System Savior」でバックアップするソリューション。
- ✓ クラスタ環境のシステムバックアップを簡易にし、災害時などのITシステムの復旧対策を強力にサポート



➤ 2012年1月、連結子会社SIISが関心空間からの事業譲受に合意

- ✓ 2月1日付で関心空間のWebサイト開発等の事業、及びクチコミサイト「関心空間」、知財等を譲り受け
- ✓ SIISの既存ソリューションとの融合により新たなソーシャルサービスの展開を図る



用語集

頁	用語	説明
2	LifeKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp. (旧SteelEye Technology, Inc.) の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA(ハイアベイラビリティ) クラスターソフトウェア。
2	Red Hat Enterprise Linux	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
2	SIOS Integration for Google Apps	Googleが提供する、メール、インスタント メッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービスGoogle Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
2	MFP関連ソリューション	2009年から提供を開始したMFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。
6	クラウドコンピューティング	コンピュータ処理をネットワーク(通常はインターネット)経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
11	DataKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp.の製品。データの複製を別の場所にリアルタイムに保存することを実現するソフトウェア。
14	オープンソースソフトウェア(OSS)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
16	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	Social Networking Serviceの略。インターネット上での社会的つながりを促進・サポートするサービス。
21	JBoss Enterprise Middleware	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が提供するエンタープライズ向けに最適化されたオープンソースの統合ミドルウェア製品。
21	Postgres Plus	高性能なオープンソースのデータベースである PostgreSQL をベースに米国のEnterpriseDB社が開発した企業ユーザー向けデータベース製品。
21	OSSワンストップソリューション	オープンソースソフトウェア(OSS)を活用した企業システムの構築におけるコンサルティングから開発、構築、保守サポートまでをワンストップで提供し、経営コストの削減を総合的に支援するサービス。
21	Google App Engine	Googleが提供するWebアプリケーションプラットフォームで、Googleアプリケーションを実行しているのと同じ拡張性の高いシステムでWebアプリケーションを構築できる。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー（IR担当）

03-6860-5105（代表）

Webによる場合はこちらからお問い合わせください → https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS